

2004-3

一次試験・筆記 解答・解説

p.186~198

一次試験・リスニング 解答・解説

p.199~216

二次試験・面接 解答・解説

p.217~220

解答一覧

一次試験・筆記

1

(1) - 3	(2) - 3	(3) - 2
(4) - 4	(5) - 2	(6) - 4
(7) - 2	(8) - 2	(9) - 1
(10) - 2	(11) - 4	(12) - 3
(13) - 1	(14) - 2	(15) - 1
(16) - 1	(17) - 4	(18) - 3
(19) - 4	(20) - 2	

2

(21) - 4-1	(22) - 2-3	(23) - 3-1
(24) - 5-4	(25) - 4-5	

3A

(26) - 3	(27) - 4	(28) - 1
(29) - 2		

3B

(30) - 4	(31) - 3	(32) - 4
(33) - 2		

4A

(34) - 4	(35) - 1	(36) - 4
----------	----------	----------

4B

(37) - 3	(38) - 1	(39) - 3
(40) - 2		

4C

(41) - 2	(42) - 4	(43) - 2
(44) - 3	(45) - 1	

一次試験・リスニング

第1部

No.1 - 4	No.2 - 1	No.3 - 3
No.4 - 2	No.5 - 4	No.6 - 2
No.7 - 4	No.8 - 1	No.9 - 3
No.10 - 2	No.11 - 3	No.12 - 2
No.13 - 1	No.14 - 3	No.15 - 2

第2部

No.16 - 1	No.17 - 4	No.18 - 2
No.19 - 1	No.20 - 4	No.21 - 2
No.22 - 2	No.23 - 3	No.24 - 3
No.25 - 4	No.26 - 3	No.27 - 2
No.28 - 4	No.29 - 3	No.30 - 1

1 解答 ③

訳 — マットが昇進を受けたとき、会社は彼の給料を増やし、車と携帯電話を与えた。

解説 — provide A with B で「A に B を与える」。confuse A with B は「A を B と間違える」、confront A with B は「A を B と対決させる」。postpone は「～を延期する」で、with を使った用法はない。

2 解答 ③

訳 — 多くの国で、ドライバーはシートベルトを常時着用することを義務づけられている。

解説 — require A to do で「A に～するように命じる、義務づける」で、問題文はこの構文が受動態になった形。本来の目的語の A が受動態の主語になっているが、態が変わっても動詞の語法を見抜けるようにしておこう。

3 解答 ②

訳 — サンドラは父親にコンサートへ連れて行ってくれるよう頼んだが、拒否された。宿題を終えなければだめだと、父親は言った。

解説 — beg A to do で「A に～するように頼む」。allow A to do は「A が～するのを許す」。protect 「～を保護する」、praise 「～をほめる」には、目的格補語に不定詞をとる用法はない。

4 解答 ④

訳 — 猛暑のため、ビールの消費量が8月に突然上がった。

解説 — 正解の consumption は「消費(量)」。空所の後から of beer 「ビールの」と修飾されていることと、全体の文脈が解答のヒントになる。expression 「表現」、preservation 「保存」、association 「関係、連想、協会」は文意に合わない。

5 解答 ②

訳 — A: ゆうべのお隣のパーティのあの騒音、聞こえた?

B: ああ、とてもうるさかったね。全く眠ることができなかったよ。

解説 — 正解の annoying は形容詞で「いらいらさせる、迷惑な、うっとうしい」。charming 「魅力的な」、forgiving 「寛大な」も形容詞。destroy の形容詞形は destructive 「破壊的な」

6 解答 ④

訳 — ピアニストの演奏の後、コンサート・ホールは聴衆からの盛大な拍手で満たされた。

解説 — applause は「拍手喝采(かっさい)」の意味。After the pianist's performance という状況、空所前の形容詞 loud 「(音が) 大きな」がヒントになる。問題文中の audience 「聴衆、観衆」も重要なヒントで

ある。

7 解答 ②

訳 — デニスはウィルソン氏と何度か連絡をとろうと試みたが、何度電話しても誰も出なかった。

解説 — attempt はここでは名詞「試み」で、動詞 make と組み合わせて「試みる」。後に不定詞を伴い「～しようという試み」という用法がある。正解を得るためには、空所の前後の語との組み合わせに目を配ることも大切。

8 解答 ②

訳 — 新しいハイウェイの計画に対する地元住民の主な反対理由は、それが多くの騒音を引き起こすということである。

解説 — objection は「反対 (の理由)」で、前置詞 to または against を伴って「～に対して反対」の意味を表す。addition (to) は「(～への) 追加」。opportunity と campaign は to do を伴い、それぞれ「(～する) 機会」, 「(～するための) 組織的活動」

9 解答 ①

訳 — A: すみません。この2台のコンピュータに速度の違いはありますか。

B: それほどでもありません。こちらのほうのメモリが少し大きいので、その分わずかに速いんです。

解説 — Not very much. や a little faster から判断して slightly 「わずかに」。選択肢はすべて形容詞に -ly をつけた副詞で、doubtfully 「疑わしく」、differently 「違って」はそれぞれ動詞 doubt, differ から派生している。派生語から意味を推測する能力も必要だ。

10 解答 ②

訳 — 校長は生徒に、勉強に集中してほしいと思い、在校時間内の携帯電話の使用を禁止した。

解説 — ban 「～を禁止する」が適切。同義語に prohibit があるが、ban のほうが字数が少ないので新聞の見出しなどに多用される。arrest 「～を逮捕する」、adjust 「～を適合させる」、fasten 「～を固定する」

11 解答 ④

訳 — 70歳であるにもかかわらず、マクダーモット教授は引退する気はまったくなく。彼はこれから5年間、定期的に教えることを続けるつもりである。

解説 — by no means 「決して～ない、まったく～でない」。空所を含む文がどのような意味になるべきかを、第2文から推測しよう。to the contrary 「それにもかかわらず」、for a while 「しばらくの間」、at any cost 「どんな犠牲を払っても」

12 解答 ③

訳 — A: もしもし、サラ・ウィリアムズです。ジョーンズさんをお願いしま

す。

B: 承知いたしました、ウィリアムズさん。しばらくの間、そのままでお待ちください。

解説 — Hello, this is ... May I speak to ... といった表現から電話での会話だと判断できる。hold the line 「電話を切らずに待つ」は慣用表現。hold には「～を…の状態のままにしておく」という意味がある。

13 解答 ①

訳 — A: ドンナは大丈夫なの? 今日仕事に来なかったんだけど。

B: 風邪をひいて1日中寝込んでたって聞いたよ。

解説 — show up (for) で「(～に) 姿を見せる, (～に) 出席する」。up は「出現する, 顕在化する」という意味を表す副詞である。〈例〉bring up 「(話題・案など) を持ち出す」, come up 「(問題・質問などが) 生じる, 話題にのぼる」

14 解答 ②

訳 — スチュアートは、仕事中心も非常に忙しい。ひとつのプロジェクトを終えたとすぐ、次のものに移らなければならない。

解説 — move on (to) 「(次の段階に) 移る」。副詞の on には「先へ, 進んで, 続けて」という意味がある。

15 解答 ①

訳 — ブライアンはとても一生懸命練習したが、それでも芝居で演技するのは不安だった。幕が上がる前に、彼は落ち着こうとして深呼吸をした。

解説 — take a deep breath 「深呼吸する, ほっと息をつく」。この take と breath のようなコロケーション(連語)は、通常、熟語として扱われないので、辞書を引く際は例文にも目を通すことを習慣にしよう。

16 解答 ①

訳 — マイクは普段あまり多くのお金を使わないが、時々高価な食事をとるのが好きである。

解説 — once in a while 「時々」。once upon a time 「昔々, あるとき」, in the meantime 「その間に, ところで」では文意に不適。now and forever は特に熟語ではない。

17 解答 ④

訳 — これまで1か月間毎日勉強したので、テストはたやすいものだった。

解説 — a piece of cake には「たやすいこと, 朝飯前のこと」という意味がある。

18 解答 ③

訳 — 首相が書いた最新の小説が出版された後、彼は政治家というよりむしろ作家でないかと人々は思い始めた。

解説 — not so much A as B 「A というよりむしろ B」。as ... as は否定文では not so ... as ... という形も使われるので、このような知識からも正

解の類推が可能である。

19 解答

④

訳 — 残念なことに、会社の財政状態が悪化したので、多くの人々は自分たちの職のことを心配している。

解説 — for the worse 「悪いほうへ、悪化して」。反意表現は for the better 「良いほうに」。

20 解答

②

訳 — インターネットはビジネスのやり方に大きな影響を及ぼしている。今や多くの会社が、店舗でよりもウェブサイトのほうでより多くの商品を販売している。

解説 — 空所で始まる節は間接疑問文で、on の目的語になる名詞節であり、a big effect 「大きな影響」を受ける対象である。第2文の内容から、影響を受けるのは how business is done 「ビジネスのやり方」であることがわかる。

一次試験・筆記

2

問題編 p.149

21 解答

④

①

正しい語順 — spend her vacation at home rather than at a resort hotel

訳 — お金を節約するために、ヘレンはリゾートホテルではなく自宅で休暇を過ごすことにした。

解説 — 空所前の decided to は不定詞を導くので、直後にくるべき動詞の原形はspend しかなく、その目的語の her vacation が続く。A rather than B 「B よりむしろ A」の形から、残りの語順が決まる。

22 解答

②

③

正しい語順 — the beach every other day during

訳 — ミシェルは海で泳ぐのが好きだ。彼女は夏の間1日おきに浜辺に行く。

解説 — まず go to に the beach を続けて「浜辺に行く」。次に、every other day 「1日おきに」がわかるかどうかポイント。during は空所後の summer とつなげて「夏の間」とする。

23 解答

③

①

正しい語順 — This new computer is capable of handling

訳 — この新しいコンピュータは、非常に短い時間で複雑な数学の問題を処理することが可能だ。今、私は自分の仕事をずっと速く済ませることができる。

解説 — be capable of doing 「～する能力がある」の構文だとわかることがポイント。this new は後に名詞がこないとおかしいので、computer を

続けて、これを主語とする。空所後の complex mathematical questions は handling の目的語。

24 解答 ⑤ ④

正しい語順 —— know where I can get a coffee

訳 —— A: この辺でコーヒーを飲むことができるのを知っていますか。

B: ええ。この方向へ5分ほど歩けば、喫茶店がありますよ。

解説 —— 空所前の Do you に続く動詞の候補には know と get がある。その動詞の目的語が where I can ... の間接疑問文になるとわかれば、B の応答から判断して文全体の意味がわかり、おのずとそれぞれの動詞が決まってくる。

25 解答 ④ ⑤

正しい語順 —— is worth asking them just in case

訳 —— A: 今日、財布をなくしちゃったんだ。100ドル入ってたんだよ。

B: 警察に電話してみた? 誰かがあなたの財布を届けたかもしれないから、尋ねてみたほうがいいよ。

解説 —— It is worth doing 「～する価値がある」の構文だとわかることがポイント。just in case 「～だといけないから」は接続詞として、空所後の節をつないでいる。

一次試験・筆記

3

問題編 p.150～152

[A]

全訳 クリッターカム

クリッターカムとは、動物の生活様式についての情報を集めるために科学者によって使用されている、新しい研究用器材に付けられた名前である。音、映像、温度、その他の情報を記録する極小のビデオカメラの一種であるクリッターカムのユニークな特徴は、それが研究対象の動物に取り付けられるということである。動物の邪魔をしたり、行動様式を変えさせたりしないので、科学者は動物の自然な行動について理解を深めることができる。

クリッターカムは、海洋生物学者であり映画製作者でもあるグレッグ・マーシャルによって考案された。マーシャルはある日、コバンザメがサメにびったりくっついているのを目撃したとき、その器材についてのアイデアを思いついた。サメは、腹部にその生き物がくっついているということに気づいていないようであった。サメがコバンザメの存在に煩わされないのであれば、小型カメラの存在にも煩わされることはないだろうと、マーシャルは考えたのである。

長年の努力の後、マーシャルは彼のユニークな研究用器材の作製を成し遂げた。クリッターカムは、研究対象の動物に、素早く、そっと取り付けられる。その上、科学者が情報を集め終わったら、信号を送るだけでいつでもクリッターカムを取り外すことができる。

クリッターカムは動物の研究にとって重要である。なぜなら、それは科学者が以前には得ることができなかった動物についての情報を得ることを可能にするからである。それを使うことで、人間の存在が動物の行動に影響したかどうかを心配する必要もなく、自然な環境での動物の映像記録を得ることができる。このようにして得られる事実は、動物を理解するためだけでなく、環境保護の目的においても重要である。人間が気を配るべき自然の領域を科学者が特定し、そうするための最もよい方法を判断することを、クリッターカムはより容易にするのである。

26 解答 ③

解説 ——— 空所を含む主節にかかる **Because ...** の節の内容から、論理展開に矛盾のない **deepen** を選択する。選択肢はいずれも〈形容詞+en〉「～にする」の動詞なので、元になる形容詞から意味が推測できる。

27 解答 ④

解説 ——— 空所を含む文に続く、**It occurred ...** の文の内容から正解がわかる。文章全体で言及されている、クリッターカムがそれを付けた動物の邪魔にならないということも、間接的なヒントになる。

28 解答 ①

解説 ——— 文頭にきて文全体を修飾し、論理展開を表す副詞を選択させる定番の問題。前文との意味のつながりが、正解を得るためのポイントになる。空所の前後ともクリッターカムの使用のメリットについて言及している。

29 解答 ②

解説 ——— 空所前の **without having to ...** 「…する必要なく」、**worry whether ...** 「…かどうかを心配する」の構文をしっかり把握できるかどうか、正解を得るためのカギ。この文では、クリッターカムのメリットをもう一度具体的に述べている。

[B]

全訳 健康な骨

健康な骨を作るためにはカルシウムが豊富な食品を食べなければならないということは、ほとんどの人が知っている。しかし、多くの人々は、運動が食事と同じくらい不可欠であるということをわかっていない。例えば、若いころに十分な運動をしなければ、晩年に、骨が非常に簡単に折れるようになる病気である骨粗しょう症を患うかもしれないのである。

運動は強い骨を作るために非常に大切であるが、どんな種類の運動でも役立つというわけではない。骨と筋肉が重力に反発して動くことが大切である。ダンス、ランニング、エアロビクスがそのような運動の例である。一方、水泳は水が体重を支えるのでそれほど効果的ではない。骨を強化するためには、正しい種類の運動を定期的に行わなければならない。

ダンスやランニングのような体重のかかる活動は、いくつかの理由で骨の健康を増進する。その1つは、子供たちや若者たちの骨をより太く、より強くするのに役立つことである。もう1つは、そうした運動が骨の周囲の筋肉を強化するということである。そして、これらの

筋肉は張力を骨にかけ、骨の強さを保つのである。運動はまた、別の方法で私たちの骨を保護するのに役立つ。定期的な運動は強さ、バランス、身体のコントロールを向上させるので、骨に損傷を与えかねない事故を避けることがより容易になるのである。

体重のかかる運動は、人生のどの段階においても骨の健康にとって有益である。しかし、その利点は年齢によって異なる。生まれてから30歳ごろまでに、骨は作り上げられる。したがって、幼児期により強い骨を作ることが、老年期の骨粗しょう症を防ぐ最高の方法である。子供たちは、毎日30～60分間肉体的な活動を行うようにするべきである。ランニングとジャンプが含まれるスポーツ、例えばバスケットボールやサッカーなどが理想的である。健康な骨を作るためのカギは、若いころから手入れを始めることと、栄養とライフスタイルの両方に注意を払うことなのである。

30 解答 ④

解説 —— 前文を受けて、論理的なつながりを表すフレーズを選ぶ問題。空所で始まる文が前文の内容をより具体的な例で説明する内容になっているので、For example が正解。

31 解答 ③

解説 —— 空所後の because で始まる理由づけの節と内容がつながるように文を完成させる。この文は、on the other hand を使って swimming を前文の dancing, running, aerobics と対比させている点にも注目。

32 解答 ④

解説 —— 空所を含む文中の also からその前の部分とのつながりを、そして in another way から次に続く部分とのつながりを考え、文章の流れを理解し、正解を推測しよう。

33 解答 ②

解説 —— 空所に入るべき動詞の目的語になる osteoporosis 「骨粗しょう症」は、英検 2 級レベルの単語ではないが、第 1 段落最終文にその説明が書いてあるので、見逃さないようにしたい。

一次試験・筆記 4 問題編 p.152～157

[A]

全訳

発信人：マークス・スタイン <mstein@frontierads.com.au>

宛先：全職員

日付：2005年1月21日

件名：電話システム

全職員の皆さん

最近、会社の番号に電話をしても直接職員と話すことができないという、お客様からの苦

情を私は数多く受けています。わが社の電話の記録をチェックしたところ、電話システムが1月18日の午前10時から午前11時の間に一時的に運転休止したほかは、いかなる技術的なトラブルも発見されませんでした。むしろ、電話に十分と言えるほど素早く出られていないので、昼間にかかってくる電話の多くが留守番電話に自動的につながっているようです。

ご存じのとおり、すべての電話は職員によって応答されなければならないと、会社方針にはっきり述べられています。留守番電話はお客様が営業時間外、もしくは祭日に電話をかけてきた際に、メッセージを残すことができるようにするためだけのものなのです。このサービスは主に、わが社の国際的なクライアントと、通常の営業時間に電話することができないほかのお客様のためにあるのです。

10分以上自分の机を離れる際は、自分宛の電話はすべて受付係のマリアかブライアンへ転送されるように、電話機をセットするのを忘れないでください。彼らはその際、メッセージをメモしたり、電話を別の適当な職員に転送したりしてくれます。こうすることで、電話が最も良い方法で確実に処理されます。

よろしくお願いします。

マーカス・スタイン

代表取締役

フロンティア広告

34 解答 ④

質問の訳 ———— なぜ、顧客はマーカス・スタインに苦情を言ったのか。

- 選択肢の訳 ————
- 1 留守番電話にメッセージを残すことができないから。
 - 2 自分たちの電話が会社の電話の記録に記載されていないから。
 - 3 会社の電話回線に技術的なトラブルが続いているから。
 - 4 自分たちの電話が職員によって応答されていないから。

解説 ———— 第1段落第1文の *complaints from customers who say that ...* の部分の関係代名詞によるつながりが理解できれば、この *that* 節以降が苦情の内容であることがわかるだろう。

35 解答 ①

質問の訳 ———— フロンティア広告の会社方針は、何を述べているか。

- 選択肢の訳 ————
- 1 営業時間内のすべての電話は、人により応答されなければならない。
 - 2 日中残されるメッセージは、職員によってチェックされなければならない。
 - 3 通常の営業時間の後でも電話に出なければならない。
 - 4 職員は、国際電話の際に会社の電話を使用することを避けるべきである。

解説 ———— 第2段落第1文から正解が1だとほぼわかる。同第2文に *answering machine* は *outside business hours* のためだとあるので、正解の選択肢の *during business hours* の部分が確認できる。

質問の訳 —— 10分以上自分の机から離れる際、職員が忘れずにするべきことは、

選択肢の訳 —— 1 自分がどこに行くのか受付係に知らせることである。

2 電話を処理するために、自分の電話機を携行することである。

3 自分のためにメッセージをメモしてくれるよう、適当な人に頼むことである。

4 すべての電話がマリアカブライアンに転送されるよう、自分の電話機をセットすることである。

解説 —— 第3段落第1文から正解は4だとわかる。ほかの選択肢は同段落中の表現を利用した引っ掛け。第1段落＝問題提起，第2段落＝原因分析，第3段落＝解決策の提案という，文章全体の流れにも着目したい。

[B]

全訳 数を数える犬

ゴリラとチンパンジーには数の数え方を教えることができるということは、科学者にはしばらく前から知られていた。しかし現在、研究者であるブラジルのロバート・ヤングとイギリスのレベッカ・ウェストは、犬にもこの能力があることを示唆する実験を行っている。鳥やネズミといった多くの動物は、ある物の1つの山積みがもう1つの山積みより大きい場合、それを見分けることができるが、これは数を数えられることと同じではない。数を数えるためには、それらの動物は自分の前にいくつかの物体があるかを正確に認識することができなければならない。

犬は数を数えられるという仮説を検証するため、ヤングとウェストは、生後5か月の赤ちゃんが数を数えることができるかどうか調べるためにほかの科学者が使用した実験を応用した。その実験では、4体の人形を赤ちゃんに見せ、次にそれをスクリーンで隠した。それから赤ちゃんに、その人形のうち1体を取り出されるところを見せた。この後に、スクリーンが上げられた。後に残っている人形の数が正しい数の3体であったときは、赤ちゃんは関心を払わなかった。しかし、スクリーンが上がる前に科学者がひそかにもう1体の人形を加え、後に残された数が4体になったときは、赤ちゃんは人形をじっと見つめた。これは、赤ちゃんは話すことはできないが、単純な計算はすでにすることができることを示唆した。

ヤングとウェストは11匹の犬に対して同様の実験を行った。しかし、人形の代わりに、彼らは犬用ビスケットを使用した。結果は、赤ちゃんに対する実験で得られたものとまったく同じだった。数が予想されたものであったとき、犬は平静なままだった。しかし、数が異なっていたときは、犬は困惑している様子だった。

それでも一部の専門家は、犬が本当に数を数えることができるかどうかを疑っているが、ヤングとウェストは、犬の祖先のオオカミは野生で生き残るために数を数えることができる必要があったのかもしれないと主張している。例えば敵のオオカミの群れに出会ったとき、相手を打ち負かすことができるかどうかを判断するために、何頭のオオカミが目前にいるのかを正確に知ることは彼らにとって非常に重要だっただろう。ヤングとウェストの仮説が真

実であると判明すれば、それは犬の飼主が長い間考えてきたこと——犬は多くの人々が考えているより頭が良いということ——を証明することになるだろう。

37 解答 ③

質問の訳 —— ロバート・ヤングとレベッカ・ウェストが実験を行ったのは、

- 選択肢の訳 ——
- 1 鳥とネズミが数を認識することができることを証明するためである。
 - 2 物の山積みがどれくらい大きいかを動物は見分けることができるという仮説を検証するためである。
 - 3 犬が物を数えることができるかどうかを解明するためである。
 - 4 ゴリラとチンパンジーが数の数え方を学習することができるということを証明するためである。

解説 —— 第1段落第2文から 3 が正解だとわかる。また、タイトルや文章全体の文脈からも、犬が数を数えることができるかがメインテーマだとわかる。全体の流れが把握できればほかの選択肢に引っかかることはないだろう。

38 解答 ①

質問の訳 —— 生後5か月の赤ちゃんに対する実験では、赤ちゃんはいつ人形をじっと見つめたのか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 現れた人形の数が、あるべき数と異なっていたとき。
 - 2 スクリーンの後ろに隠されていた人形の数が正しい数であったとき。
 - 3 科学者が4体の人形を取り上げ、別のスクリーンの後ろにそれを隠したとき。
 - 4 科学者がスクリーンの後ろの人形の山に4体の人形を加えたとき。

解説 —— 第2段落で赤ちゃんに対する実験の詳細が説明されている。少し複雑な内容だが、単語を追って日本語に訳すのではなく、実験の流れを頭の中に映像で思い浮かべるのが素早く理解するコツ。

39 解答 ③

質問の訳 —— ヤングとウェストの実験は、生後5か月の赤ちゃんに対する実験とどのように異なっていたか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 後に残された物の数は、毎回全く同じであった。
 - 2 スクリーンの後ろの人形を見たとき、犬が困惑した。
 - 3 ヤングとウェストがスクリーンの後ろに隠した物が異なっていた。
 - 4 犬が予想した数を見たときの反応が異なっていた。

解説 —— 第3段落第1文から正解が 3 だとわかる。正解文にある The objects は赤ちゃんに対する実験では dolls、犬に対する実験では dog biscuits である。

40 解答 ②

質問の訳 —— 数を数える能力はオオカミが何を知るのに役立ったと思われるか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 彼らが戦わずに生き残ることができるかどうか。
 - 2 彼らが敵の群れとの戦いに勝つことができるかどうか。

3 敵の群れのオオカミは何歳か。

4 敵を打ち負かすのにどのくらい時間がかかるか。

解説 —— 第4段落の第1文に、オオカミには数を数えることができる必要があったという主張が、続く第2文にその具体的な理由が書かれており、ここから正解がわかる。本文の defeat が正解文では win と言い換えられていることに注意。

[C]

全訳 フレデリック・ウィンズロー・テイラー

近代的な工場の発展に最も貢献した人は、恐らくフレデリック・ウィンズロー・テイラーであろう。しばしば科学的経営の父として知られるテイラーは、1856年にアメリカ合衆国フィラデルフィアの裕福な家庭に生まれた。学校では優秀な生徒で、特に数学とスポーツに秀でていた。ハーバード大学への入学を認められたが、視力に問題があったため通学することができなかった。数年後には視力がよくなり、彼はフィラデルフィアの工場で働き始めた。いろいろな工場で数年働いた後、彼は工場をより効率的にするためのアイデアを展開し始めた。

テイラーが仕事を始めたころ、ほとんどの熟練工場労働者は、自分が最良だと考える方法で商品を生産する職人であった。また、労働者の多くは、自分ができる量よりも少ない量しか生産していなかった。彼らは故意にそうしていた。1つには、どんなに生産量が少なくても、彼らに支払われる賃金は同じだったからである。しかし、それはまた、彼らがより多くの量を生産すれば、それにつれて多くの労働者が必要ではなくなり、彼らの何人かが職を失ってしまうことを恐れたからでもあった。テイラーが管理職になったとき、彼は制度を刷新することを決めた。

彼が最初にしたことの一つが「作業研究」の導入である。この中で彼は、それぞれの労働者がある作業を行うのにかかった時間を計った。最も速い方法がわかると、彼はすべての労働者にそれと同じやり方を使うよう教え込んだ。テイラーの基本的原則は、ひとりひとりが自分に最も適している作業を確実に行うようにすることであった。この理由から彼は、計画と訓練に対して責任を負う管理職と、実際にものを作ることに責任がある労働者を、明確に区別するように主張した。

テイラーの改革は劇的な効果をもたらし、時には労働者あたりの生産量が2倍になった。これにより、多くの労働者がより多くの金をかせぎ始めることにもなった。しかし、彼の改革は、それ特有の問題を引き起こした。多くの労働者がもはや必要とされなくなり、職を失った。またテイラーは、作業の多様性や労働者からのフィードバックの必要性といった、労働に関する重要な要素の多くを無視した。だが、テイラーの効率を増加させるための手法が、大量生産を可能にしたのだ。その意味において、彼のアイデアは近代経済を生み出す役に立ったのである。

41 読解 2

質問の訳 —— なぜフレデリック・テイラーは大学に行かなかったのか。

- 選択肢の訳 — 1 彼はスポーツをすることにもっと興味を持っていたから。
 2 彼は視力に関する障害を経験したから。
 3 家庭が貧しすぎて、彼を学校に送ることができなかったから。
 4 彼の夢は工場労働者になることだったから。

解説 — 第1段落はテイラーの経歴について割かれており、第4文から正解が2だとわかる。stop A from doing「Aが～するのを妨げる」の構文の理解と、from going が from going to university だとわかることがポイント。

42 解答 ④

質問の訳 — 多くの工場労働者が恐れたのは、もし彼らがより多くの商品を生産すれば、

- 選択肢の訳 — 1 熟練職人にとって代わられるのではないかということである。
 2 ほかの労働者よりも賃金が少なくなるのではないかということである。
 3 商品の品質が低下するのではないかということである。
 4 彼らの何人かが職を失うのではないかということである。

解説 — 第2段落に、テイラーが工場で働き始めたころの工場労働者の様子が記述されている。第4文の内容が、選択肢4の内容と一致する。

43 解答 ②

質問の訳 — 管理職としてテイラーは、

- 選択肢の訳 — 1 作業研究を自分たちで行う方法を労働者に教え込んだ。
 2 最も迅速な労働者の方法をまねることを労働者に指導した。
 3 労働者が計画に対して責任を負う制度を導入した。
 4 労働者ができる限り迅速に賃金を受け取れるようにした。

解説 — 第3段落はテイラーの改革、主に time studies に関する解説である。第2文から正解が2だとわかる。同文の the same method は when 節の the quickest way を指している。誤答の選択肢にはこの段落の表現がいろいろ使われているので注意。

44 解答 ③

質問の訳 — テイラーの改革のマイナス面の1つは何であったか。

- 選択肢の訳 — 1 工場が労働者に支払う賃金を減少させる結果をもたらした。
 2 アメリカの国外ではほとんど効果がなかった。
 3 労働者からのフィードバックが必要であることを無視した。
 4 労働者がより多様な作業をしなければならないことになった。

解説 — 第4段落の最初の2文でテイラーの改革の利点を挙げ、第3文で欠点もあったことに言及し、第4～第5文で具体的に説明している。最後の2文ではテイラーの改革を総合的に評価し、文章をまとめている。However, Nevertheless など論理展開を表す表現に注目して文脈を把握しよう。

質問の訳 —— 以下の文章のうち正しいものはどれか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 テイラーは、管理職と労働者の責任を分離することの重要性を強調した。
 - 2 テイラーは、彼が管理職になった後に初めて、工場改革についてのアイデアを持ち始めた。
 - 3 テイラーの手法により、工場の大部分の労働者はより長い時間働かなければならなくなった。
 - 4 テイラーの改革の主要なねらいは、工場での仕事をよりおもしろくすることであった。

解説 —— 第3段落の最後の文から正解が 1 だとわかる。改革のアイデアは工場で働いたときに持ち始め、管理職になって実行したので、2 は間違い。選択肢 3, 4 のような内容の言及はない。